

## 日程第2. 市政一般質問

○議長（初村 久藏君） 日程第2、市政一般質問を行います。

本日の登壇は2人を予定しております。

それでは、届出順に発言を許します。7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） おはようございます。朝からですが、みんな眠そうにしているの  
で、少し目を開けて聞いてください。

一般質問に入ります前に、一言、市民の皆様へ、お知らせをしておきます。

私は、9月の14日の一般質問で、三宇田海水浴場の業務委託の件を市民の要望でやったのですが、一般質問が終わってすぐ、事務局のほうに抗議の電話がかかってきました。その後、10月になって私が比田勝の古里に掲げている看板を真っ赤に塗り潰されました。その後、北警察署にお願いして、一応、器物損壊ということで受理されました。私に対する嫌がらせと民主主義への冒瀆だと思います。私は、市民の方々から選ばれた議員です。市民の意見を議会で言うのが私の仕事ですので、幾ら嫌がらせをされようとどうしようと私は今までどおり言い続けてまいります。市民の代表としてこれからも頑張るつもりです。よろしく願いいたします。

それと、私たちの一般質問の持ち時間は50分しかないんですが、前回の9月の一般質問を時間計ってみましたら、市長・部長の答弁が32分、私が18分でした。それで、今日は少し長い答弁は途中で切らせていただきます。

以上です。

それでは、通告をしておりました一般質問に入らせていただきます。

生ごみ処理施設について。生ごみの処理施設が決算で毎年3,100万円上がってきているんですが、作った肥料が全然お金になっていない。このまま事業を継続していかれるのでしょうか。お答えください。

大山の公民館について。要望が上がっているのに、ぼろぼろになるまでどうしてあのままにしていたのか。いつ頃の建設予定ですか。

姫神砲台について。私は、このことはもう去年から何回にわたって言ってまいりましたが、整備をするつもりはおありでしょうか。お答えください。

コロナ禍で生活が苦しい子供のいる家庭全てに対する給付金について。この問題は、一応、国が5万円の給付は決定しておりますが、非課税世帯でなく、全家庭に5万円の給付をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 入江議員の質問にお答えいたします。

まず、答弁が長いということをございまして、できる限り簡潔に答弁はしたいと思っておりますけど、ただ、結論だけ申し上げても、その理由が分からないということで、その経緯・理由等をしっかりと話した上で結論等を出して説明いたしますので、御理解をお願いいたします。

まず初めに、生ごみの処理施設についてでございますが、生ごみ処理事業は、ごみの減量化と資源化を推進するため、生ごみを資源として活用し、農地へ還元する循環型社会の構築を目指しているものでございます。これにより、焼却施設の省エネルギー対策と温室効果ガスの排出抑制を図り、平成24年度からスタートしております。平成26年度には1億5,700万円で生ごみ堆肥化施設を建設し、平成27年度から本格的な堆肥化に向けて稼働しております。

事業の運用は、生ごみ等資源再利用業務として約3,170万円で生ごみの回収、施設の運転管理を民間事業者へ委託し、実施しております。また、施設建設費の償還金としましては約5,100万円が残っており、毎年約430万円を返済しておりますが、これは合併特例債により返済額の70%が交付税に算入されております。

一方、現在の生ごみ分別協力世帯は、事業所も合わせて2,215世帯となっており、ここ3年間は50世帯ずつ増えている状況であります。昨年の生ごみの回収量は337トンで、これから44トンの堆肥が生産されており、協力世帯に無償で配布し、有効に活用いただいているところでございます。

また、この事業により、焼却施設の経費削減と二酸化炭素の排出抑制が図られていることもあり、加えまして、生ごみ回収事業を中止した場合は、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」により整備費の補助金返還額が約3,600万円程度発生することとなります。

このような中、6月の議会において、市と市議会の連名で「ごみゼロアイランド対馬宣言」を發出し、ごみのさらなる減量と資源化に向けて動き始めております。また、国においても、今年4月1日から「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行され、近い将来、ごみの減量を推進するため、プラスチックの分別回収も実施しなければなりません。

生ごみの分別回収は非常に重要でありまして、今後のごみ処理事業の鍵を握る取組であると言えます。SDGsの未来都市の対馬として、地域循環、サーキュラーエコノミーの一環であるこの事業を今後も推進していきたいと考えております。

次に、2点目の大山生活館の建て替えに関する質問でございますが、本年8月、大山区長から大山生活館の建て替え、もしくは大規模改修についての要望を受けました。施設の現状を確認したところ、施設内外に及ぶ多数のクラックが発生し、フローリング床のたわみなど、著しく老朽化が進行しており、その状況写真を見る限り、改修工事でなく、建て替えが必要だと判断しております。

どうして建て替えができなかったのかというような質問でございますけれども、まず、本市の

地区集会施設の現状について御説明申し上げます。

市内には、地区などに指定管理者制度による管理運営をお願いしている集会施設は120を数えますが、建築後30年以上を経過するものが89施設で、全体の74.2%を占め、そして、鉄筋コンクリート構造の耐用年数である47年以上のものでも8施設が存在します。その中には大山生活館も含まれております。

市制施行後18年を経過いたしますが、この地区集会施設を新築、また、建て替え工事を実施した実績は、巖原町小茂田、瀬、内山、美津島町平瀬原の計4地区にとどまっております。

また、いつ頃の建て替えかという御質問でございますけれども、高度成長期から集中的に整備されてきた公共施設の老朽化は、全国的に大きな行政課題となっているのが現状であり、本市としても限られた予算の中でどこに割り当てるのかと、その時々で優先順位を判断しながら予算づけを行っており、学校教育施設長寿命化事業などの一部を除いては、おおむね事後保全型による修繕工事に対応しており、施設自体の利用頻度の点などからも優先順位は上がり、現在に至っております。

地区集会施設に限らず、多くの施設でも老朽化が進行している状況にあります。このような状況にある地区利用者の皆様にも御納得いただくには、構造上の老朽化度を統一した基準で判定し、数値化することが第一歩と考えますので、この場におきましては、個々の施設の建て替えの時期を明言することは差し控えさせていただきます。

次に、姫神砲台跡の整備についてでございますが、姫神砲台跡は島内に現存する砲台の中では最大級の規模で、保存状態もよく、平成31年4月に市の文化財に指定されております。観光振興を行う上でも、景観をはじめ、歴史と組み合った観光地の売りとなる重要な施設でございます。

砲台までのアクセス道は、令和2年までに緒方地区から市道終点となる空き地入り口までの舗装を行っておりますけれども、当該空き地から砲台跡までは共有地あるいは個人所有地のため未整備となっております。

砲台跡及び周辺空き地の景観維持につきましては、これまでも地元の皆様をはじめ、対馬観光物産協会の御協力により、市の関係課と連携しながら、支障木の伐採、除草作業を実施しておりました。

今後も同様に御協力をいただきながら、景観の維持を図りつつ、次年度からさらに年2回程度、定期的な作業を市のほうで実施し、景観の維持に努めてまいります。

なお、未整備区間の道路につきましては、文化財の保護を行う観点から舗装は考えておりませんが、観光客等が安全・安心に訪れることができるよう、荒れた路面の整備など、歩きやすい環境を整えるよう努めてまいります。

また、砲台跡の施設の維持・保全につきましては、市の文化財に指定されておりますので、今

後、関係部局等との協議も進めてまいります。

次に、子育て世帯全てに対する給付金についてでございますが、自治体においては、国が実施する生活支援特別給付金の対象とならない子育て世帯等への給付について、地方創生臨時交付金の活用または単独予算によって実施していることを報道等により承知しております。

さきの臨時会において、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、物価高騰による家計への影響が顕著である住民税非課税世帯に対する1世帯当たり5万円の支給事業予算について議決をいただきました。

世界の経済に大混乱を引き起こした新型コロナウイルスに加え、ロシアのウクライナ侵攻が消費者物価の上昇を加速させ、子育て世帯を含む全世帯の家計に大きく影響を与えていることは認識しておりますが、これまでも多額の給付金を支給している現状におきまして、さきの臨時会において答弁いたしましたとおり、現時点では単独予算による給付金等の追加支給は考えておりません。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） 7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 生ごみ処理施設のことなんですけど、前回、課長が、生ごみを入れ、バケツで集めるのが1週間に2回らしいんですけど、9リッターのバケツで2回、それを2,000万、安んに持っていくごみが浮きますよということだったんですけど、9リッターのあの小さなバケツで生ごみを持って行って、安んの焼却場が2,000万、1年間に浮く。これはどういう根拠から言われたかお答えください。

○議長（初村 久藏君） 市民生活部長、舍利倉政司君。

○市民生活部長（舍利倉 政司君） お答えいたします。

全体の生ごみの量を今、分別回収していきまして、その量を焼却する費用、燃料代、電気代、機器の点検類のそういった事業費、これから換算してその金額に値すると、そういうふうな形で決算委員会の折に課長が答弁をいたしました。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 2,000万円というのは、9リッターのバケツを全島で2,153個です、9リッターのバケツを。それを1週間に2回しか回収していないのに2,000万円浮くということは考えられないと思うんですけど。浮くわけがないですよ、これ。

○議長（初村 久藏君） 市民生活部長、舍利倉政司君。

○市民生活部長（舍利倉 政司君） 年間にしまして、その週2日を年間に量を算出しまして、年間で昨年で337トン回収できているんです。安んが年間のごみの焼却量が約1万トンです。そ

れに対して生ごみで分別されたのが337トンあるということで、その量から試算してそういうふうな計算を推定していると、そのようなことで算出しております。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） これは農協にやりよる3,100万のお金が無駄遣いだと思うんですけど、肥料を無料で配布でしょう。お金にならんわけです、肥料を作ったところで。3,100万を農協に委託して農協にずっとやりよるみたいやけど、これはやっぱり無駄だと思うんですけど、やめるわけにはいかないんですか。あと、借金が今市長が言われたようにもう4,000万ちょっとですよ。そうしたら、もうやめればそれで一年ちょっとでもう返済できるやないですか。ごみがお金になるならいいけど、ならない物を作り続ける。本当に無駄です。それか、これをテレビなどで、CATVなどで放送してもらって、バケツの数を倍ぐらいに増やすとか。今、全島で2,153個です。それを倍以上に増やすとかいうことになれば、少しは2,000万ぐらいになるかしらんけど、今のところは153個、減りよるやないですか、そうしてずっとバケツを出す家が。だから、それを聞いてみたら本当これは無駄だと思うんです。そして、その肥料が幾らかになって売ればいいけど、全然売れんじゃないですか。これは本当に無駄な施設だと思うんですけど、ずっとこのまま続けられますか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 答弁の中でもまず申し上げましたとおり、SDGsを宣言している対馬市といたしましては、このような資源循環型の施策を進めていかなければならない。そしてまた、今、この事業をやめてしまえば、補助金の適正化法、これによって3,600万円ほどを国に返還をしなくちゃならない。こういったところもあります。

そしてまた、今、ここで作った堆肥は「堆ひっこ」という名前をつけておりますけれども、利用者の皆さんに無償で提供をまずしております。今、ほとんどもう作った堆肥は出ております。大変感謝をされております。ただ、この堆ひっこも将来的にはもう少し成分等がよくなれば、議員おっしゃられるように有料化等も考慮する必要があるのかなというふうに考えているところであります。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） このままこの施設を続けていくなら、もうちょっと宣伝をしてバケツの数を増やすとか、倍ぐらいに増やすとかして宣伝をして、9リットルのバケツを全島に広げるような形にしないと駄目やと思うとです。これは無駄やと思うとです。

それで、このバケツを出しよる家庭に聞いたんです。そうしたら、バケツを出しよる家庭は肥

料を無料でもらえるということを知っている家庭が少なかったんです。だから、それも出して  
くれる家庭は肥料を無料でやりますよということを公表してやって、バケツの数をもうちょっと  
増やすように努力して、CATVで言うてみるか、各いろんなところで地域説明会をしたら、  
バケツの数を増やすようにこれから続けていくならしていただきたいと思います。

それから、大山の公民館についてですけど、大山の公民館の要望が上がってきて行ってみまし  
たら、潮が上がってめちゃくちゃなんです、中が。それで、あれは、地域づくりの計画の中には、  
大山の公民館は入っていますか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 地域づくり計画自体、大山地区はまだ出されていない状況であります。  
それと、確かに、私も現地はなかなか行けんかったんですけど、写真をずっと見る限り、大潮の  
ときに少し潮が上がってきている状態でありますし、なかなかこの分につきましては、先ほども  
申しましたように、修繕・改修ではちょっと追いつかないなど。いずれは、ここはまた計画的な  
建て替えが必要であろうというふうには考えております。

○議長（初村 久藏君） 7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 135ある施設のうちに、対馬市が21管理してあると言うんで  
すけど、この21の中に地域づくりの計画の中に入ったのは何施設ぐらいありますか。今、市が  
21、全島で135ある中で市が21管理していると言うんですけど。

○議長（初村 久藏君） 福祉保険部長、國分幸和君。

○福祉保険部長（國分 幸和君） 議員の認識が間違っているようですので、訂正させてください。  
今、135というのが集会施設の全ての数です、指定管理を含んだ。おっしゃる21というのは、  
福祉課が所管している施設の数です。福祉課が所管しているというのが生活館、住民センター、  
保健福祉館、これの総数が21ということでございます。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） だから、その中に、地域づくりの計画の中に入った施設は何施設  
ありますかと聞いているんです。

○議長（初村 久藏君） しまづくり推進部長、伊賀敏治君。

○しまづくり推進部長（伊賀 敏治君） 地域づくり計画というのは、地域マネジャー制度が始ま  
った数年後に地区でそれぞれ地域づくり計画をつくった分のことでしょうか。地域づくり計画を  
つくった地区が何十地区あって、そのうち何十地区が集会施設の改修とか新設とかを入れている  
のかということだと思いますけれども、今、本日資料を持ち合わせておりませんので、その数字  
は分かりませんが、当時の私の記憶の中では、地域づくり計画をつくった地区については、

おおむね集会施設の必要性といった部分には上げている地区が多いのかなということは感じておりました。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） ぼろぼろでも要望が上がってきていないところはしない、地域のほうから要望が上がってこないと計画には上げないんですか。もうここの中には40年、50年のところが。大山でも48年です、これ。48年だから。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 先ほど部長のほうの説明いたしました地域づくり計画は、これは強制ではございません。そういう中で、地域づくり計画をつくって、その中に地区集会施設とか、そういったところの重要性を上げてこられる分については、また修繕等についても検討材料にするということでございまして、地域づくり計画関係で巖原町の小茂田、瀬、そして内山、美津島町の平瀬原、この4地区につきましては、こういった地域づくり計画をきちんとつくられた中で、その重要性が記載されているというようなことで、ここは新築と申しますか、また、建て替え等を実施されているということでございます。

○議長（初村 久藏君） 7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） そうしたら、大山の公民館は要望が上がってきても計画の中には入っていない、いつになるか分からないということですか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 大山のほうは、何せ本年8月にその要望が上がったというようなことで、今後、どの時点でこの計画に盛り込むのか、検討はしていくという考えでおりますけれども、その前に、まず、できればそういった地域づくり計画等はきちんと地域で地域マネージャー等の協力をしていただきながら上げていただきたいなと思っております。

○議長（初村 久藏君） 7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） この135、全島である中で、50年を越した施設はどのくらいありますか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 今、50年以上が3か所ございます。3か所ございまして、その3か所等をまた来年度、その中の1か所は建て替えを計画しているところであります。そして、大山生活館につきましては40年から50年未満ということで、47か所ある中の1施設だということでございます。

○議長（初村 久藏君） 7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 姫神砲台のことに対して、もう私はこの問題は3回ぐらい一般質問でやってきたんですけど、私、1か月に2回ぐらいは私あそこに登るんです、お客さんを連れて。そうしたら、レンタカーが4台から5台来ているんです、あその駐車場まで。この前、私たちが行ったときは2人で行ったんですけど、99歳のおじいさんが東京から家族2人と来てあったんです。それで、駐車場に車を置いた。それから、それからの道がもう本当、車は行かんし、ぼこぼこなんです。もうそれはひどくなっていました、あれ、降りてからの道が。それを全部で抱え上げてやっと上げたんですけど、あその道を人間が歩けるだけでも結構ですけど、あんなにも石がぼこぼこじゃなくて整備できないもんでしょうか。

それで、私はもうずっとこれ、姫神を言ってきたんですけど、あれだけの天空の砲台といつてすばらしいです。あそこをやっぴりきちんと整備をしてもらいたいんですけど、整備はできないものなんですか。もうずっと言ってきました。それも、赤れんがが剥げかけたり、それから砲台に亀裂が入ったりしているんです。だから、あんなのを早く整備せんと、あれは朽ち果ててしまうと思うんです。だから、普通、お客さんが必ず来ているんです、何人か。だから、この前はもう抱え上げました、98歳を。その方は戦争中に対馬に来ておって、あの砲台におられて、死ぬ前に懐かしいからもう一回来たいということで、孫さんたち2人を連れてきてあったんです。だから、4人で抱え上げてやっと上まで登った。ところが、上まで登っても整備ができていないんです。だから、私「すいませんね、すいませんね」、謝りながらずっと上まで登らせたんですけど、あれをどうにかあんなすばらしいところを整備ができないもんですか。そして、文化財課に言うても、文化財課は4人ぐらいでは無理です、あそこをするのは。だから、どうにかあそこはできないもんですか、整備を。

そして、姫神砲台だけじゃなくて、大体、対馬全島の観光地が整備がされていないんです。いろいろお客さんを連れていくけれども、壱岐やなんかはすごいです、もうきれいに整備されて。でも、対馬でただ一つ、安心して連れていかれるのはお船江です。ある議員さんが一年に4回も5回も草刈りしてあるんです。だから、草が伸びておるときがないんです。だから、あそこに連れていけば「ここはいいですね」という感じで安心してから案内ができるんですけど、あんなふうに観光地の整備はできないもんでしょうか。お答えください。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） まず、駐車場用地から砲台跡まで、ここが先ほども申しましたように共有地あるいは個人有地なんです。そこでなかなか舗装をすることもまず難しいということが1点でございます。

そこで、舗装じゃなくても整地等は、これはもう本当やっていくべきだというふうに思いますので、これは文化財課にさせるんじゃないで、予算化をした上でこれは行いたいというふうに思



っております。

ただ、ここは個人有地、共有地の関係、それからまた言うように、文化財に一応指定をしているということで、あんまり車をあの上まで登っていかせると、またあそこでいろいろUターンとか何とかして文化財が破損、壊される可能性があるということで、本来は駐車場で車を止めて、あれから先は歩いていただくということを考えているところでございます。というのも、文化財の保護がまず第一ということで考えております。

それから、また、市の観光施設、特に議員おっしゃられたお船江については、本当に献身的に草刈り等を実施していただいている議員さんもいらっしゃいます。そういうことで感謝を申し上げたいというふうに思いますし、市といたしましても、観光施設については今後もできる限りの整備をしていきたいというふうには考えております。観光施設等には予算はかなりつけているんですけども、御指摘があったところについてはまた今後も注意をしてみたいというふうに思います。

○議長（初村 久藏君） 7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 車を置いて駐車場から歩くところを石のぼこぼこじゃなくて、石のぼこぼこをちょっと埋めるだけでもいいんです。そうしたら、もう歩けると思うんです。もう気の毒で、私、ずっと来てある方たちに「どこからですか」とか言うと、東京とか大阪とか言われるから、「すいませんね、整備ができていなくて」といつも謝るんですけど、もうちょっとやっぱりちゃんとしてもろうてから「どうぞ」という感じであれなんですけど、赤れんがや何かがちよっと剥げよるところやなんかは補修はできるんですか。

○議長（初村 久藏君） 教育長、中島清志君。

○教育長（中島 清志君） 関連しますので、教育委員会のほうからお答えしたいと思います。

市長の答弁にもございました、そして、議員御指摘のとおり、史跡の状態が必ずしも良好であるとは言えない状態です。従来からのれんがや石積みの亀裂、そして崩落に加え、近年はイノシシによる破損被害が確認されるようになっております。石垣の亀裂に関しましては、その上の樹木の伐採をしたところ、今度は今まで日光が届いていなかったものですから下に草は生えていなかったんですけども、その下に草が生えて、それをまた動物が食べに来るというようなことが起きています。改めて文化財保護の難しさを感じているところです。

破損した石垣や当時のコンクリートの亀裂の補修に関しましては、文化財であるために、ただ単に現在のコンクリートで補填をするというわけにはいかないところがございます。文化財ですので、砲台跡の建築当時と同様の材料を使用して、当時に近い形での補修・保護が必要となっております。そのためにも、ほかの事例等も参考にしながら、よりよい形で保存していけるように私どもとしても努力をしてみたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

○議長（初村 久藏君） 7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） できるだけ全島の文化財の補修をしていただいて、向こうから来られる方たちに対しても、あんな汚い草ぼうぼうを見せないでしてもらいたんですけど、修理をお願いします。

コロナ禍のことなんですけど、子育て家庭の経済的負担を軽減して、安心して対馬で子供を産んで育てられる環境づくり等、次世代を担う子供たちの健やかな成長のために、ぜひとも非課税家庭だけじゃなくて、国のほうは非課税家庭なんですけど、自治体で非課税家庭だけじゃなくて、子供のいる家庭全部に5万円の支給をお願いしたいんですけど。

それも、子ども食堂を始めて2年になるんですけど、お弁当を配達をしているんです、私。そうしたら、2年前の子供たちと今の子供たちが全然対応が違うんです。車の音がしたらもう車のところまで飛んでくるんです。最初のうちはそんなことがなかったんですけど、いろいろ聞いてみたらお米を買えない家庭とかあるみたいなんです、独り親家庭。だから、お米を食べておらんとか、そんな家庭がおるんです。だから、非課税家庭だけじゃなくて全家庭に給付をお願いしたいと思います。本当にもうかわいそうでたまらないんです。だんだん態度がもうそれまではお弁当をもらって「ありがとう」ともらいよったのが、もう車の音がただけで飛び出してくるような状態なんです。だから、それを見るたびにもう私たちはもう涙が出るんです。だから、できるだけもう子供のおる家庭、全家庭に5万円の給付をお願いしたいんですけど。

それと、大村市なんかでは、物価高騰の支援金ということで、大村市は12月から来年の3月までが水道代免除、大村市は総額6億2,500万円の一般会計補正予算を取ったんです。それで、12月から3月までの水道代がもう無料。それから、五島市では、電気・ガス、食料品などの物価高騰対策として5億1,700万を予算取っているんですけど、物価高騰の支援金に対しては、対馬市は何も考えておられませんか。

○議長（初村 久藏君） しまづくり推進部長、伊賀敏治君。

○しまづくり推進部長（伊賀 敏治君） さきの11月の臨時会の折に補正予算を出させていただきました。約1億3,000万の中で、燃油高騰対策とかそういったもので、給付金とかではございませんけれども、市民の皆様に行き届くような形のキャッシュレスであつたりとか、そういった部分で予算を計上、前回の臨時会のときに計上させていただいております。

○議長（初村 久藏君） 7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） そのキャッシュレスというのは何ですか。どういう家庭にそのキャッシュレスを。

○議長（初村 久藏君） 観光交流商工部長、村井英哉君。

○観光交流商工部長（村井 英哉君） キャッシュレスによる経済対策ということですけども、

今、議員おっしゃるように、全ての世帯に対してのそういった給付ということにはなりませんけれども、スマートフォン等を使って島内で物を買うとき等に、ペイメントといいますけれども、例えば、d払いとかそういったところを使って、お店でポイントで支払いをしますと、それに付加価値がつきまして、1回につき25%のポイントが返ってくるというような、そういう買物とかに関するキャッシュレス事業ということですので、議員おっしゃるような全体の給付というようなこととは少し意味合いが違うかと思います。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 私のほうから補足をさせていただきますけれども、実は私も昨日、これまで令和2年度から3、4年度までの特に子育て関係に限定した交付金等を拾い上げてみました。約6億5,000万円支払っております。それとまた、今後、令和4年度の事業で今も単独費を入れて計画はしておりますけれども、それ以上に執行残等が出てきた場合は、議員おっしゃられるようなそういった子育て関係の予算に充てることが可能であれば、それも一つの案として検討をしてみたいというふうに考えているところであります。

○議長（初村 久藏君） 7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 物価高騰支援金ということで、対馬市も何か方法を考えていただけませんか。水道代も無料にするとか、来年の3月まで。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 市としても、物価高騰支援関係、油等におきましてもかなり予算は割いているんです。まして、今、一番大きいのが水産業関係の漁船関係の燃油高騰関係、こういったところにも大きな交付金等を入れております。ですから、生活に係る燃費高騰については、先ほど申しましたように、11月補正でありました分で大方2億9,000万ぐらいでしたか、そういったところを活用していただきたいなというふうに思っているところでございます。

○議長（初村 久藏君） 7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 最後になりますけど、独り親家庭の家に弁当を持っていくんですけど、貧しくて、物価高騰で貧しくて靴やなんかも買えなくて、買えんままその小さくなったのを履いておったり、「どうしたと」と聞いたら「もうお金がないんです」という感じが多いんです。だから、私、もうそれをどうかして救うてやりたくて一般質問に持ち込んだんですけど、もう時間がありませんので、よろしくをお願いします。

以上で終わります。

○議長（初村 久藏君） これで、入江有紀君の質問は終わりました。